

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 19日

事業所名 療育ポータルスタジオ CoreMore

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	3	朝礼にて部屋の使い方等を確認しています。	利用定員を遵守しています。支援スペースについても適正以上の広さを確保し実施しております。利用者様と職員がより快適に過ごせるよう配慮を行ってまいります。
	2 職員の配置数は適切である	8	2		適正な人員体制を保持しています。現場の状況に合わせた勤務体制を考慮します。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	3		現環境において可能な範囲で個々の利用児童にとって、分かりやすい環境づくりを進めております。誰もがわかりやすく使いやすい環境を目指しながらできる努力をしてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	5		必要なスペースを確保できるよう、適宜物の配置の見直し、物品の整理を行ってまいります。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10	0		
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	0		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10	0	毎年ホームページに掲載しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	7		来年度以降の実施に向け計画してまいります。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10	0	適宜、研修を実施しています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10	0	発達アセスメント、また作業療法士・言語聴覚士によるアセスメントなどを実施し、個別支援計画に反映させています。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するため、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	3	専門職種におけるアセスメントを積極的に実施しています。	標準化されたアセスメントツールは、十分な理解と配慮があつたうえで使用するものと考えています。今後も職員教育を進めてまいります。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10	0		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10	0		
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	10	0	多職種連携の意識をもち、積極的に他のスタッフと話せる機会をつくるようにしています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	0		
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	9	1		児童の状況/意向と保護者の意向に応じて個別支援と小集団支援を組み合わせて実施しております。個別および小集団について洞察を深めた対応ができるように今後も研鑽を積んでまいります。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	0	朝礼にて、シフト確認・支援概要等、全体で確認共有化を実施しています。	

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 19日

事業所名 療育ポータルスタジオ CoreMore

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10	0	夕礼にて、共有しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	0		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10	0		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	1		実施されている会議等には、適切な職域もしくは職種の参加をしております。今後も事業所チームの中で連携協働しながら進めてまいります。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	10	0		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関と連携した支援を行っている	7	0		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	7	0		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	0	積極的に園との情報共有に努めています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	2	必要に応じて、文書等の情報共有を行っています。	移行支援においては、情報の取り扱いに留意し、保護者とご本人の意向を踏まえたかたちで支援をしております。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	2	必要に応じて連携を行っています。	常勤職員を中心に実施されている研修の周知や参加をしており、職員からの研修申請を積極的に受け入れ実施しています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	9	夏のイベントとして、通所しているお子様の兄弟も参加できるような企画を実施しました。	児童発達における地域支援や地域との関わりについて職員への教育啓発を行います。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	7		部会や会議の実施の際は、積極的な参加をしております。参加者は限られるため、研修受講者は他職員に他する伝達と教育の場を設ける仕組みになっています。参加していることの周知と伝達の場を持てるよう徹底してまいります。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	1	毎回フィードバック時等にお話する時間を作っています。	保護者とのお話の場は、支援毎に機会が保障しております。職員が支援内容を十分に言語化もしくは視覚化して伝えられる技量を高めらるよう、今後も現場の中で教育を進めてまいります。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアント・トレーニング等)の支援を行っている	5	4	ペアントトレーニングとしては行ってませんが、個別・グループ共にお子さんへの接し方、考え方を随時アドバイスしています。	家族支援プログラムとしての実施ができるよう計画的に実施してまいります。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 19日

事業所名 療育ポータルスタジオ CoreMore

保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	0		
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10	0		
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	0		
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	9	日々の支援のフィードバック、モニタリングを基本に保護者様の要望を踏まえ、対応していきます。	
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0		
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	0		
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	10	0		
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	0		
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	7	夏のイベントとして、通所しているお子様の兄弟も参加できるような企画を実施しました。また、お誘いをうけ近隣地域のイベントに参加しました。 地域のお子様も参加できるようなイベントを検討していきます。また、参加のカタチの工夫をして取り組みます。	
常時等の対	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	1	作成と更新をしているマニュアル等を周知徹底してまいります。	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	1	定期的な実施に留まらず、日頃より防災意識を高める啓発を委員会中心にしてまいります。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	3	禁忌事項などある場合は、職員全体での共有化を今後も行い、周知をしっかりと行います。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	5	食べ物を提供するサービスはほとんどありません。食べ物を扱う時は事前に確認を行っています。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	1	ヒヤリハットの事例について都度会議や文書化することで共有しています。現在は、事業所内および他事業所との共有もすすめています。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0		
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	4	必要な児童には、個別支援計画に記載いたします。全利用者様に契約時、重要事項説明書を以って説明しています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。